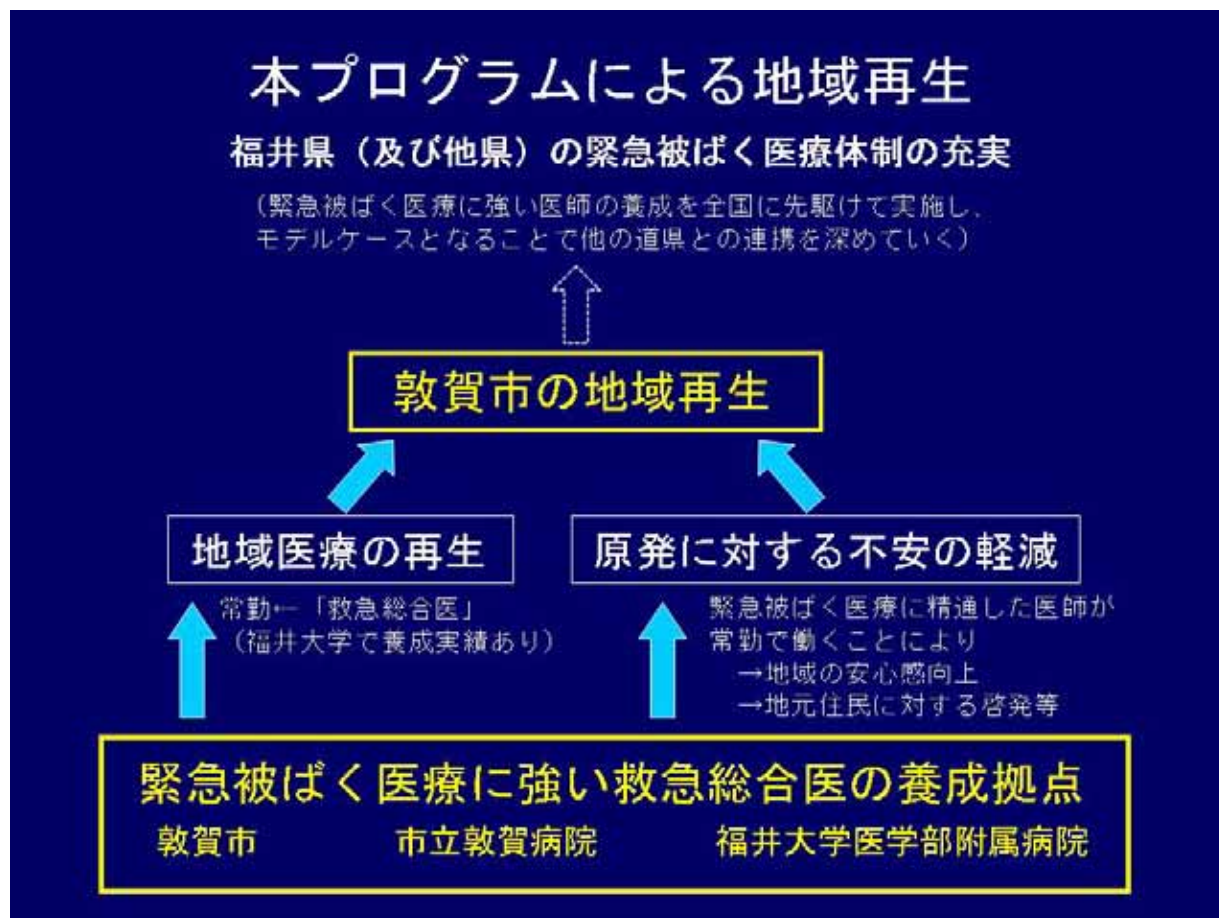
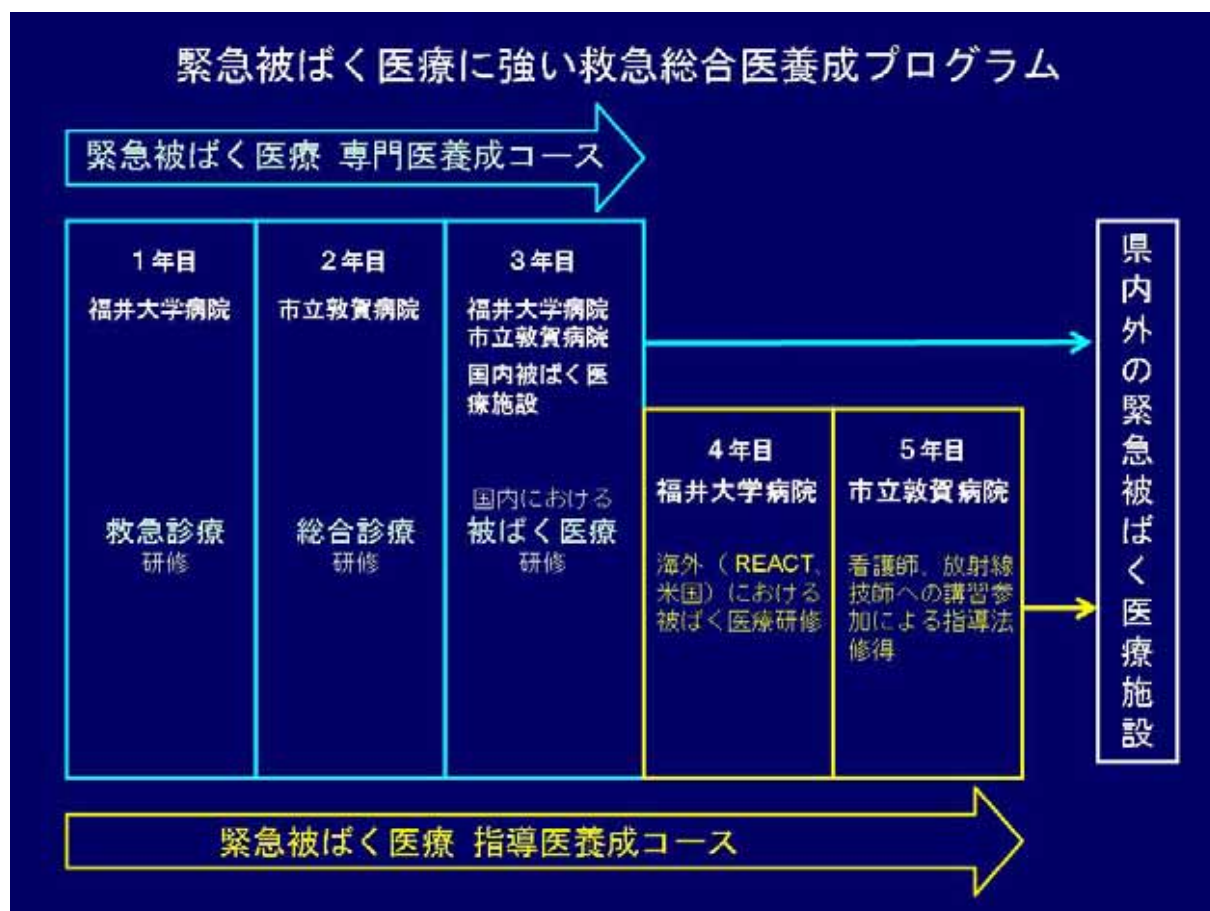


【「緊急被ばく医療に強い救急総合医養成拠点」プログラム全体像】



- ・敦賀市を、緊急被ばく医療と、救急総合診療に強い医師を養成する拠点とし、地域医療の再生、住民の原子力施設への不安の解消、住民を主体とした防災対策の充実を図ることにより、地域の課題の解決を目的としています。
- ・現時点では、緊急被ばく医療に強い医師の養成は、他の原子力施設をもつ道県においても行われていないため、敦賀市が全国に先駆け、このような医師養成の拠点、また、モデルケースとなることで、他の道県との連携を深めることとしています。

【「緊急被ばく医療に強い救急総合医養成拠点」プログラム内容】



- ・本プログラムは、「専門医 養成コース」と「指導医 養成コース」の2階建て方式の研修プログラムです。
- ・「専門医養成コース」では、1年目に救急診療の研修を行い、2年目は総合診療の研修を行い、そして3年目は、緊急被ばく医療の研修を行い、救急診療、総合診療、緊急被ばく医療の3領域に精通した「緊急被ばく医療に強い救急総合医」を創出します。
- ・「指導医 養成コース」では、海外での 緊急被ばく医療研修を行うとともに、緊急被ばく医療に強い看護師や放射線技師の養成に参画します。